

資 料 提 供			
月日(曜日)	担当課(室)	電 話	担当者
2月26日 (水)	サステナブル社会推進課	2 2 6 3	冨永・峯

コウノトリ(鳴門板東ペア)の今シーズン最初の産卵の推定 及び「見守り」への御協力について

認定NPO法人とくしまコウノトリ基金は、2017年から2024年まで8年連続で野外繁殖に成功した鳴門板東ペアについて、観察カメラの映像を基に「2月24日までに今シーズン最初の産卵があったもの」と推定しました。

県民の皆さまには、コウノトリが安心して抱卵ができるよう、「巣に近接した撮影・観察」は御遠慮ください。

また、巣の周辺の農作業や道路の通行の妨げにならないよう、「撮影・観察のための車両の乗り入れ」の自粛に御協力をお願いします。

調査結果

	2月21日 (金)	2月22日 (土)	2月23日 (日)	2月24日 (月)	2月25日 (火)
調査時間 (分)	780	780	780	780	780
巣を留守にした時間 (分)	216	159	83	0	0
巣に伏した時間 (分)	67	66	125	443	413
伏した時間の割合 (%)	8.6	8.5	16.0	<u>56.8</u>	<u>52.9</u>

(参考) 産卵を推定する指標

認定NPO法人とくしまコウノトリ基金は、「兵庫県立コウノトリの郷公園」及び「コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル (IPPM-OWS)」が使用している次の指標をもとに推定。

1日7時間 (= 420分) 以上の観察で、その間、親鳥が長時間 (経験的には10分以上) 巣を留守にすることなく、以下の事象が確認されれば産卵が推定される。

- ・ オスメス合わせて50%以上の時間巣に伏していたら、初めての産卵の可能性が高い。
- ・ 伏す割合が80%を超えれば、本格的な抱卵に入っていると推定される。